

令和6年度  
金沢大学ステークホルダー協議会  
実施報告書（資料編）

令和7年1月  
国立大学法人金沢大学

# 学長挨拶・近況報告





**金沢大学**  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

# ステークホルダー協議会

令和6年11月1日

**14:00 開会、全体会（35分）**

（休憩 10分）

**14:45 分科会（60分）**

（休憩 15分）

**16:15 各分科会の全体報告、挨拶（60分）**

**17:15 閉会**



日頃から本学へ多大な支援・協力を頂いている方々が一堂に会し、  
本学の近況をご理解いただく機会、ご意見・ご提案をいただく機会として  
平成27年から開催しています。



自治体、地元企業の皆様、  
高等学校の先生方、  
地域の皆様、  
経営協議会、金沢大学学友会、同窓会の皆様  
学生、卒業生の皆様、ほか

ステークホルダーの皆様からのご意見やご提案を  
大学運営に生かすための重要な場となっています。



# 金沢大学

KANAZAWA  
UNIVERSITY

## 金沢大学 ステークホルダー 協議会

# 志

揮毫：和田隆志

金沢大学長 和田 隆志  
令和6年11月1日

# 金沢から 未来を紡ぐ。

被災地能登の営みを取り戻し、未来につなぐ。

文理医の異分野の知を融合し、社会につなぐ。

金沢から新しいコトをつくり、ヒトをつなぐ。

ヒトと、社会と、未来が、一つに紡がれたとき  
新たな価値が生まれる。

ともに未来へ、金沢大学。



2024年4月16日、日本経済新聞（朝刊）に金沢大学の全面広告「金沢から未来を紡ぐ。」を掲載しました。

## 未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組み

---

- ① 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

令和6年1月1日16時すぎに令和6年能登半島地震が発災した

令和6年1月1日16時10分頃の石川県能登地方の地震について

## 震度7を観測

震度7 石川県

(揺れの強かった地域)

家の倒壊や土砂災害の危険

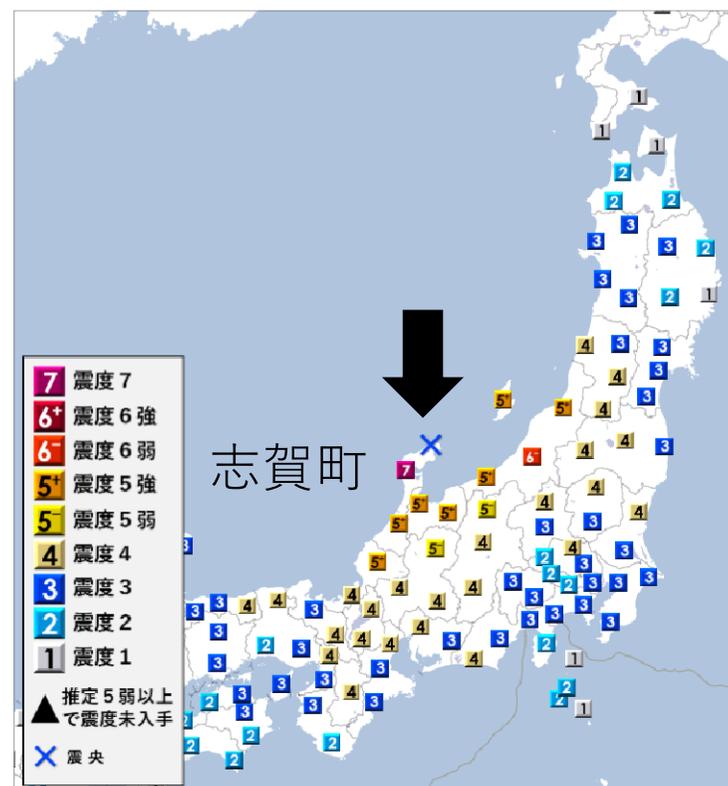
今後の地震や雨に十分注意

危険な場所に入らない！

※1週間程度(特に今後2~3日の間)

最大震度7程度の地震に注意

1月1日16時24分発表



気象庁 地震火山部 地震津波監視課 発表

## 能登半島を中心に甚大な被害がでた

### 地震の被害状況



家屋倒壊（珠州市三崎町地内）



建物倒壊（輪島市河井町地内）



火災（輪島市河井町地内）



液状化（内灘町西荒屋地内）



路面崩壊（金沢北陵高校（金沢市））



道路被害（のと里山海道 横田IC付近）



トンネル崩壊（国道249号）



山腹崩壊（珠州市正院町地内）



地盤隆起（鹿磯漁港（輪島市））



ふ頭用地陥没（金沢港（金沢市））



建物損壊（和倉温泉（七尾市））

出典：第1回石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード会議資料、2024年3月6日

## 特に大きな被害を受けた金沢大学の施設等

### ① 環日本海域環境研究センター臨海実験施設 (能登町)

〔共同利用・共同研究拠点 / 教育関係共同利用拠点〕

護岸・敷地等の崩壊、安全使用不可

### ② 理工学域能登海洋水産センター (能登町)

地割れ・地盤沈下等、建物への懸念

### ③ 能登大気観測スーパーサイト 輪島測定局 (輪島市)

メンテナンス中 → (確認中)

9月の奥能登豪雨による被害

教育研究活動  
の継続  
が不可能



輪島測定局 (震災前)



## 奥能登地域におけるその他の本学施設等

### ④ 金沢大学能登学舎 (珠洲市)

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」をはじめとする豊かな地域資源を生かし、能登を中心とした地方創生や地域活性化に向けた活動を実践できる知識・能力を有する人材を育成するプログラム (2006年～) の活動拠点。

建物に大きな被害はなく、使用可能。

※珠洲市が指定避難所を開設 (現在は閉設)

### ⑤ 能登大気観測スーパーサイト 珠洲測定局 (珠洲市)

金沢大学 能登里山里海 SDGs

マイスタープログラム

KANAZAWA UNIVERSITY NOTO SATOYAMA AND SATOUMI SDGS MEISTER PROGRAM



能登学舎 (震災前)

# 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応

発災直後から5度にわたり学長緊急メッセージを出しました

令和6年1月1日 16時10分

令和6年能登半島地震発生(最大震度7:志賀町)

17時26分

災害対策本部の設置

## 本学学生への対応 学生・留学生用ワンストップ窓口の設置

1/4(木)～11(木)遠隔授業  
1/15(月)に**対面**授業の再開



### 経済的支援



- ・金沢大学家計急変に関する緊急学生支援金
- ・ノートPC貸与・宿舍の提供など

金沢大学被災学生・施設支援等基金の設置

大学入学  
共通テスト

本試験  
無事終了

追試験  
無事終了

一般選抜  
(前期日程)  
無事終了

## 医療支援・災害対応

附属病院災害対策本部の設置

DMAT派遣

DMAT指揮所を  
附属病院内に設置

JMAT派遣

職員の派遣

地域の医療体制の維持

## 本学の建物被害



能登町：**使用不能**

珠洲市：**使用可能** ※水道は未復旧

金沢市：一部舗装破損・陥没等 **使用可能**

設備被害：約350件 (R6.2.13調査時点)

## 被災地の復旧・復興に向けて

能登里山里海未来創造センターの設置



## 被災者等支援の取組

学生等・教職員のこころのケア



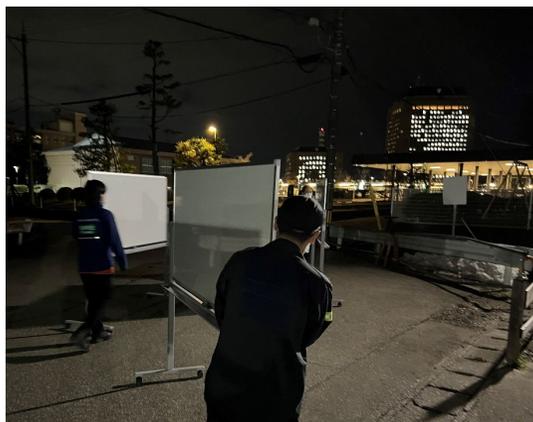
被災中・高校生への「学びの支援」  
メンタルサポート

避難所等における教職員・学生の  
ボランティア活動

## 1月1日よりDMATを派遣した：市立輪島病院

活動期間：1/1(月)～3(水)

### ① 石川県立中央病院に集合



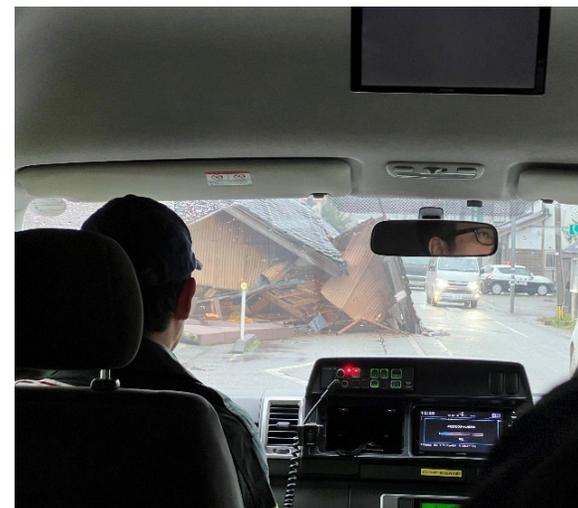
石川県立中央病院へ  
ホワイトボードを運び入れ

### ② 市立輪島病院へ移動



DMATミーティングの様子

### ③ 輪島市で活動



輪島市内を走る車内からの様子

蛍光灯が落下しそうになるなかで、他県のDMAT隊とともにミーティングを行ったあと、車に乗り、家屋が潰れる街中を移動し活動を行った

⇒ **本院での患者受け入れの活動に切り替えへ** 4日以降  
(電気・水道がストップし、地域の医療機関自体が機能不全に陥る危険性が高い)

# 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応

1月1日よりDMATを派遣した  
全国より大変多くの医療支援をいただき、深く感謝申し上げます

## 超急性期、被災病院へDMAT派遣



“先行きが見えない不安”

## 金沢大学附属病院での急性期医療

患者さん受入れ前のミーティング



自衛隊による附属病院への搬送



能登の病院から患者さんを乗せた救急車が次々と



ドクターヘリでの搬送

他県からのDMATの協力を得て、能登地域の病院等から搬送される患者さんの入院先調整を行った また、附属病院では重症患者さんを中心に受け入れた

## 能登里山里海未来創造センター Noto Resilience and Revitalization Center

R6.1.30設置

### 理念

金沢大学の英知を集結することにより、「地震・災害に強く安全・安心で、だれもが住みよい、文化薫る地域・まちづくりとひとづくり」に寄与し、令和6年能登半島地震の被災地の復興に資することを目的とします

### 能登里山里海未来創造センター運営会議

議長

学長  
和田 隆志



### Planning Steering



### 里山里海創造WG

中長期的視点による創造的復興に向けた構想の立案、学内外の調整を行う。

座長

センター長  
谷内江 昭宏



金沢大学合同調査  
チーム「KUD」

統括  
研究担当理事  
中村 慎一

こころのケア専門  
チーム「KEYPAT」

統括  
保健管理センター長  
吉川 弘明

医療支援

統括  
附属病院院長  
吉崎 智一

教育・ひとづくり

統括  
教育担当理事  
森本 章治

被災地支援  
(ボランティア)

統括  
教育担当理事  
森本 章治

これまで3回の報告会の施行

令和7年度入学生：防災・復興人材選抜



KUGS 特別入試

# 「防災・復興人材選抜」 を知ろう!

2024  
**10.6日** (12:30~受付開始)  
13:00-15:00

令和7年度入学者選抜試験(令和6年度実施)から3学域4学類(観光デザイン学類、学校教育学類、地域創造学類、地球社会基盤学類)において、KUGS 特別入試 防災・復興人材選抜を導入します。

防災・復興人材選抜の概要や研究紹介などの説明会を実施します!

対象

高校生 60名  
※高等学校卒業後2年以内の方も参加可能です。  
※高校生1名につき、ご家族2名まで参加可能です。

集合場所

金沢大学角間キャンパス  
自然科学大講義棟 大講義室

主なプログラム

- ・入試概要説明
- ・研究紹介
- ・学類別相談会、研究室見学など

申込方法

以下の申し込みフォームよりお申込みください。  
<https://www.ocans.jp/kanazawa-u/?fid=ppv1NwID>

【申込期間】9月10日(火)~30日(月)17時 ※先着順



KUGS 特別入試  
防災・復興人材選抜

災害、復旧・復興、防災・減災に関する科学的知見の学修により身につけた科学的、倫理的および実証的の力をもって、被災地の復旧・復興および我が国や世界の防災・減災に貢献できる高度人材を育成するため、令和7年度入学者選抜試験(令和6年度実施)からKUGS特別入試に防災・復興人材選抜を導入します。

【出願期間】2024年11月1日(金)~8日(金)

募集する学類と募集人員

融合学域 観光デザイン学類	2名
人間社会学域 学校教育学類	3名
地域創造学類	4名
理工学域 地球社会基盤学類	10名
合計	19名

※入試に関する確定情報は、入学者選抜要項、学生募集要項を必ず確認してください。

## 未来創造センター Revitalization Center

R6.1.30設置

「地震・災害に強く安全・安心で、まちづくりとひとづくり」に寄与し、復興に資することを目的とします

### 運営会議

議長

学長  
和田 隆志



座長

センター長  
谷内江 昭宏



に向けた構想の立案、

教育・ひとづくり

統括  
教育担当理事  
森本 章治

被災地支援  
(ボランティア)

統括  
教育担当理事  
森本 章治

# 令和7年度入学生 ：防災・復興人材選抜

お問い合わせ

金沢大学学務部入試課学生募集係  
TEL:076-264-5162  
MAIL:gakubo@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学webサイト



入試情報・高大院接続

## 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会

復旧・復興に資するための調査活動や支援活動について、報告会を定期的を開催しています



金沢大学WebサイトTOP  
> 能登里山里海未来創造センター



資料等の公開

## のと里山里海未来創造シンポジウム

日時：令和6年7月21日（日）13時～16時

会場：能登町役場2階 大集会室

（サライト会場）しいのき迎賓館、珠洲市役所4階会議室

- ◆ 第1部：第3回 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会
- ◆ 第2部：未来創造トーク



調査報告を行う本学研究者



ゲストスピーカーを交えたトークセッション



会場でのグループトーク

- 約210名の参加
- 「調査・支援報告会」と「未来創造トーク」の開催
- 本学教職員と学生、地域の方、自治体職員によるグループトーク

## 学生・教職員のボランティア活動

### ◆被災生徒への学びの支援

金沢大生ボランティアによる被災中高生へ学びの支援（左）や、音楽専修学生による演奏体験型活動（右）などの活動の実施



R6.2～R6.3の限られた期間で延べ157名の学生が活動に参加しました

### ◆被災された方々への支援活動

金沢大学ボランティアさぽーとステーション(ボラさぽ)を中心とした有志の学生と教職員によるボランティア活動の実施



R6.1の発災以降、1,114名（大学による派遣分のみ）の学生が活動に参加しました  
合わせて、1,271名の学生が被災地、被災された方々へ活動をしています

# 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応

(令和6年4月26日)



学生ボランティアとのご懇談



キルト製のお花をいただきました



医療支援の状況についての説明



YABU & CAFÉ 丹のスタッフとのご懇談

## 気象状況

- 令和6年9月20日（金）の深夜から降雨  
→ 21日（土）午前中に線状降水帯の発生
- 多いところで20～22日までの総降水量500ミリ超  
→ 9月1か月間の平年降水量の2倍以上

## 被害状況

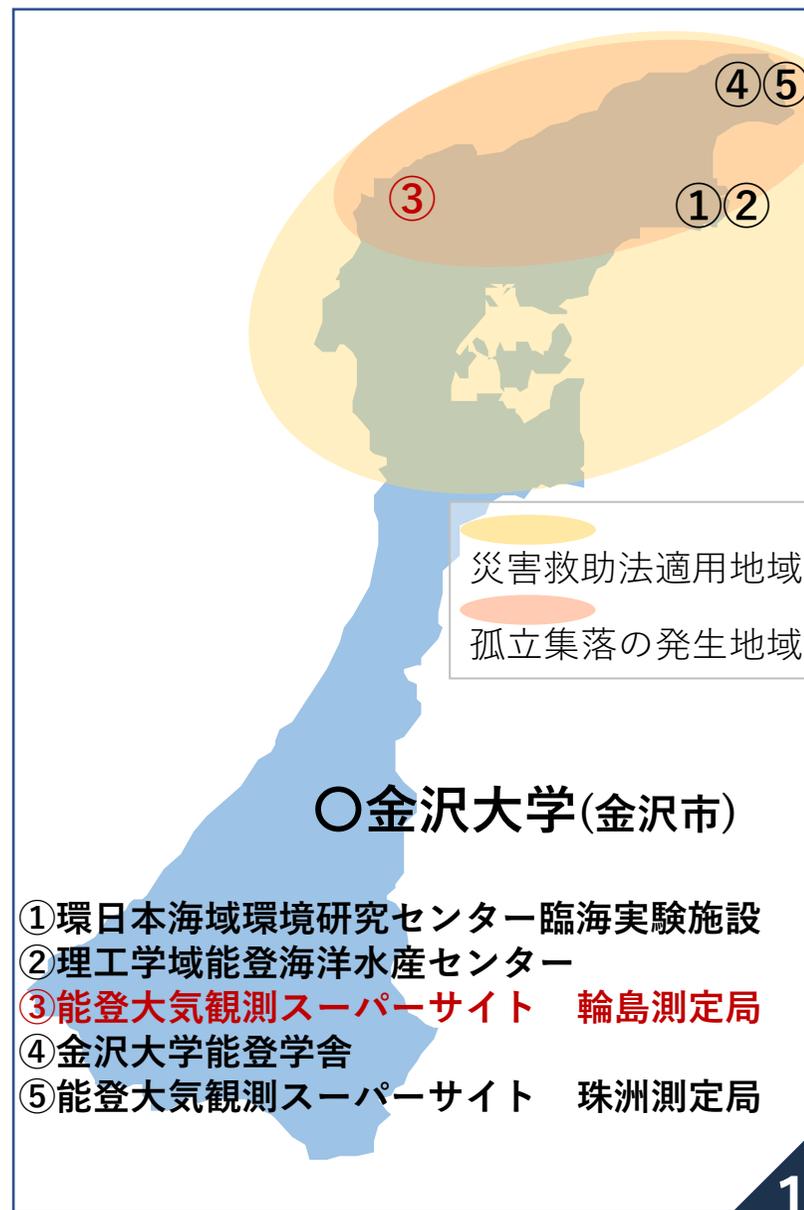
- 災害救助法適用地域：七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町
- 輪島市、珠洲市、能登町で孤立集落の発生
- 金沢大学の人的・施設の被害なし（一部確認中）

## 支援内容 能登里山里海未来創造センター

- KUDの文理医融合による調査
- KEYPATによるこころのケア
- DMAT、附属病院等による医療支援
- 地域を支える教育・ひとづくり
- ボランティアによる被災地支援

1月の発災以降、本学の学生ボランティア派遣者数 延べ**1,271名**（10/18現在）

大学コンソーシアム石川 21高等教育機関  
防災プログラムの共有化 “防災士”



## 未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組み

---

- ① 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



北辰  
(北極星)



## 金沢大学未来ビジョン



揮毫：和田隆志

未来知による  
社会貢献

最先端の研究成果を  
社会へ



KANAZAWA  
University

人間力

未来を切り拓く  
タフな人材育成

雑談の  
チカラ

異分野の出会いの  
場を創出

基本理念

地域と世界に開かれた教育重視の研究大学

揺るぎない  
未来ビジョン

金沢大学の「志」

オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

3つの  
あるべき姿

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点群の拡充

国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

最重点  
ミッション

大学院の飛躍的な機能強化

世界的視座による優位性・独自性のある研究分野の育成・先鋭化

全学を挙げての実証研究の展開

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充

優位性・独自性のある研究分野の融合により、  
文理医融合の新たな研究分野の創出に取り組んでいます

H19 (2007) 年  
設置



子どものこころの発達研究センター

- ・脳画像による個性評価
- ・視聴覚情報と言語習得
- ・脳内ネットワークと社会性



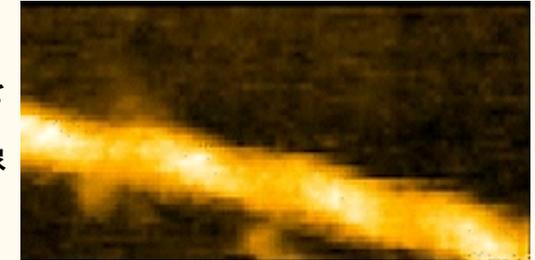
R6.1~2 能登(珠洲市、宇出津町)で精神科外来の応援

H29 (2017) 年  
設置



ナノ生命科学研究所

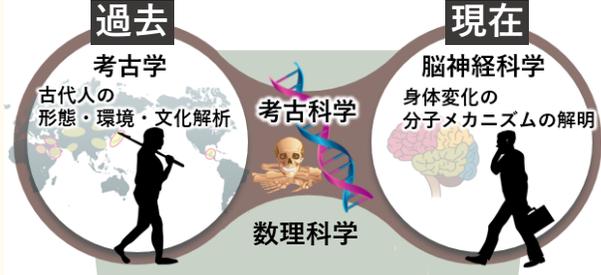
- ・生きた細胞のナノスケールの構造や動きを直接観察
- ・ナノレベルの生命現象の仕組み解明



世界トップレベルの研究拠点プログラム

R4 (2022) 年  
設置

サピエンス進化医学研究センター



人類進化プロセス・疾患病態の解明と革新的な医療の実現

R5 (2023) 年  
設置

先端観光科学研究所



文理医融合を活用した観光のイノベーション

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充

R5.12 採択

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）を活用し、10年後のビジョンの実現を目指します

10年後のビジョン 文理医融合による非連続なイノベーションを創出し続ける世界的研究拠点

- ▲大学・地域・地球規模の課題解決
- 社会変革に繋がるイノベーションの創出
- スタートアップ先進地区

未来知実証センター棟

R6年度 竣工予定



社会実装



北陸未来共創フォーラム



JAPAN ADVANCED INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY 1990

A. 基礎研究・融合研究の高度化

持続化  
新たな未来課題

加速化  
ヒト・モノ・資金

B. 社会実装の最速化

多様化 知・ヒト・資金の多様化と環流  
加速化 非連続な新たな価値の創造

基礎研究



加速化  
VCによる投資

融合研究

世界標準  
国際ラボ



WPI KANAZAWA UNIVERSITY

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充

産学官金が一体となり、北陸地域でスタートアップ・エコシステム形成を目指します

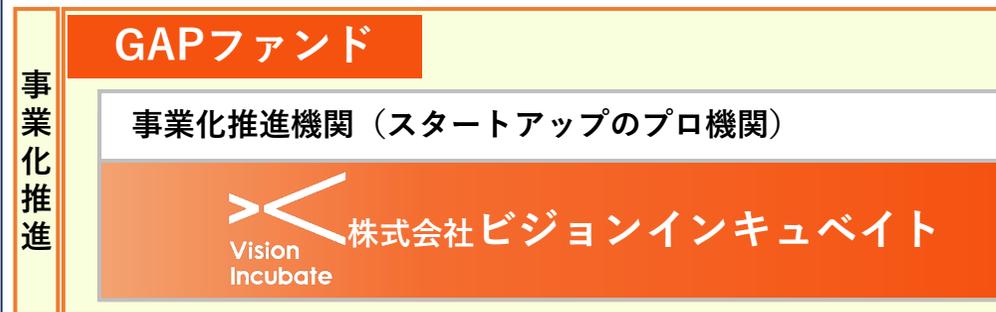


R5.8 国内初！国立大学による自己財源100%出資によるVC設立と認定ファンドへの出資

R5.12 北陸地域のスタートアップ創出プラットフォーム Tech Startup HOKURIKU

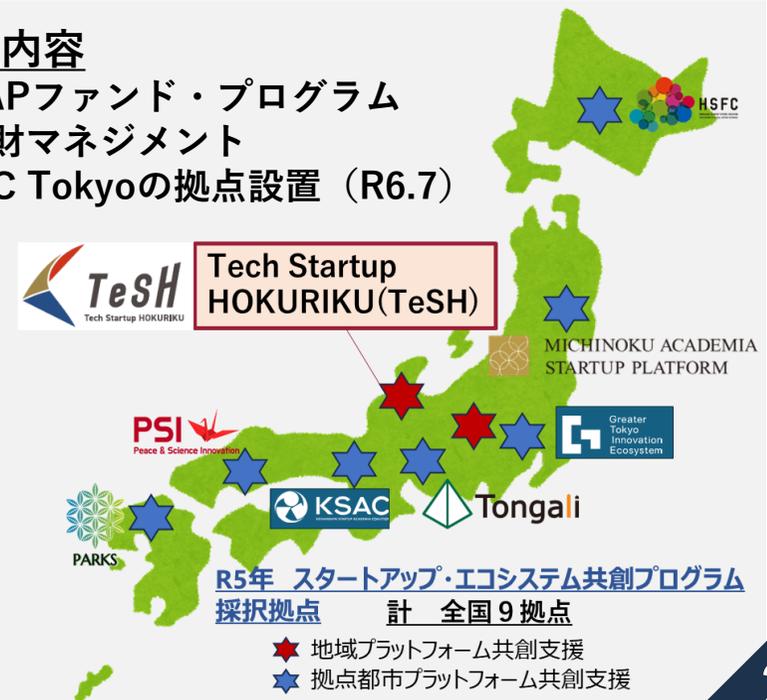
株式会社ビジョンインキュベイトによるスタートアップへの支援と投資活動の展開

金沢大学とJAISTが主幹機関とした北陸3県の12大学・3高専が参画するプロジェクト



取組内容

- GAPファンド・プログラム
● 知財マネジメント
● CIC Tokyoの拠点設置 (R6.7)



# ダイバーシティを意識した各種支援策を包括的に運用しています

R5～  
順次公開

## 若手研究者支援パッケージ MIRAI

— 支援内容の見える化・研究支援の充実・研究広報の充実 —

➤ 金沢大学Webサイトで、支援の方向性、支援一覧、活躍する研究者の紹介



Webサイトで公開

### プロミシングリサーチャーの雇用

博士人材の雇用機会の創出

- 対象者：**本学の大学院博士課程修了者**
- 雇用形態：特任助教、任期3年
- 研究費50万円／年 等の支援
- 採用枠の**半数の女性限定公募**
- NEXTプロミシングリサーチャー制度検討中

採用実績／予定  
( ) 書きは女性的人数で内数

	R5	R6	R7
採用	6名 (6名)	2名 (1名)	4名
退職※	2名 (2名)		

※他大学での教員採用(転籍)

Recruitment

### 若手研究者国際研究ネットワーク形成支援

- グローバル社会をリードする研究者の育成
- **戦略的研究推進プログラム**
    - 『燦燈プロジェクト』  
⇒ 国際共同研究の支援
    - 『自己超克プロジェクト』  
⇒ イノベーションの源泉となる先鋭研究の支援
  - 『J-PEAKSによる新規事業（準備中）』  
⇒ 国際学会の旅費支援

Internationalization

## 未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取り組み

---

- ① 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

## 国際化や国際交流の発展を進めています

R5.5  
開催

### G7富山・金沢教育大臣会合エクスカージョン 金沢大学ブランド人材育成への多大な影響



富山・金沢  
教育大臣会合  
G7 EDUCATION MINISTERS' MEETING  
IN TOYAMA AND KANAZAWA



KANAZAWA  
UNIVERSITY

Event for the "G7 Toyama-Kanazawa  
Education Ministers' Meeting"  
at Kanazawa University (May 15, 2023)



- 永岡文部科学大臣（当時）や G7各国・国際機関の代表者の方々の本学訪問
- 金沢大学生、G7各国等からの留学生や附属高校生ら40名による教育の未来をテーマにした対話
- 「金沢大学ユース宣言」発表

#### ↳ 教育の未来ビジョン

- ① インクルーシビティ（包括性）
- ② ダイバーシティ（多様性）
- ③ エクイティ（公平性）
- ④ モビリティ（移動性）

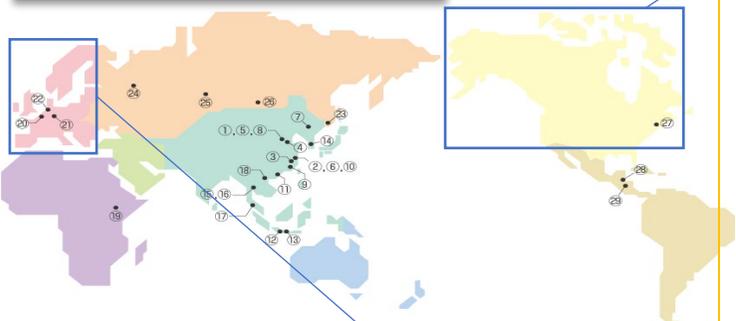
# 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

外国人留学生の受入拡大と国際交流によるグローバル人材の育成を推進しています

— 分野横断型の多層的な多文化共修教育と Global Innovation Campus —

## - Hot Topics! -

海外リエゾンオフィス  
世界13ヶ国、30の事務所



- TOEIC760相当以上の学生が**32倍**
- 国際通用性のある人材育成の推進



### R6締結

レーゲンスブルク大学（ドイツ）と戦略的パートナーシップ協定の締結

R6.6  
戦略的パートナーシップ協定調印式  
ヘーベル学長と長谷部副学長（レーゲンスブルク大学）



## 大学の世界展開力強化事業

### R5採択



「多層型日米連携協働教育プログラムによる次世代グローバル人材育成」の採択（R5.9）

- 米国のトップレベルの大学と連携
- 高校生から大学院生まで志の高い次世代を担う真のグローバル人材の育成・輩出



R6.4  
本学FD講演会でUBのトリパーティ学長による講演



President, UB



President, Tufts univ.



Vice Provost, Harvard

### R6採択



「日本とEU諸国の先端科学の展開に向けた数物科学を牽引する人材育成プログラム」の採択（R6.9）

- EUの密接な連携関係を有する4大学と、国際数物科学ネットワークの構築
- 国際通用性のある優れた数物科学人の育成



Universität Regensburg



国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出



社会の変化に対応した教育組織改革を進めています

R4年度 融合学域観光デザイン学類 新設

教学マネジメントの強化 - 全学域・研究科を対象に「3つのポリシーの再整備」-

R5年度 融合学域スマート創成科学類 新設

融合学域 3学類

人間社会学域 6学類

理工学域 7学類

医薬保健学域 4学類

R6年度 融合学域観光デザイン学類 定員20名 → 55名 (35名増)

融合学域スマート創成科学類 定員20名 → 55名 (35名増)

理工学域電子情報通信学類 定員76名 → 116名(40名増)

R6年度入学者選抜試験 (理工学域) 女子枠特別入試 導入 (募集枠34名)

理工学域 女子志願者 **7.5ポイント上昇** (R6年度実績 (R5年度比))  
 全学女子学生率 **40.6%** (R6年度実績 (過去最高率))

R7年度 新学術創成研究科 **総合知創出科学専攻** 設置予定 (融合学域に接続する新たな大学院)

KUGS特別入試 **防災・復興人材選抜** 実施予定

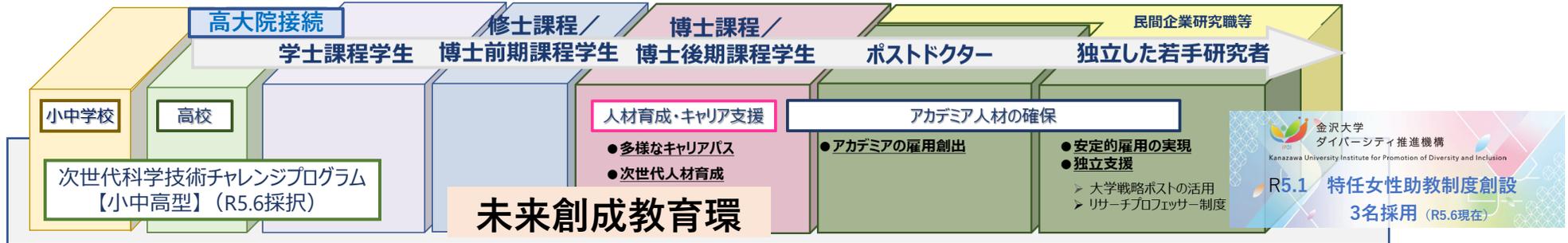
国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

世界のイノベーション創出の芽となる  
博士研究人材を育成していきます

博士は 未来を 切り拓く。

HaKaSe<sup>+</sup>

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト  
(ハカセプラス)



R4.4 「大学院GS 基盤科目・発展科目」新設 (専門職大学院を除く)

R4.5 「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト HaKaSe<sup>+</sup>」運用開始

01ナノ精密医学・理工学卓越大学院プロジェクト

02「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト

03金沢大学AI Open Science基盤の知識循環が可能にする先駆的AIクロスオーバー博士人材育成プロジェクト

04博士研究人材支援・研究力強化戦略PJ予約採用

R4.12 「Promising Researcher 制度」の創設 (R6.10現在 計8名採用 (うち7名が女性研究者))

R5.6 「次世代科学技術チャレンジプログラム【小中高型】(STELLA)」採択

# 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

## 新しいイノベーションを創出する人材を育成するため さまざまな活動を行っています (R4.4~)

### 雑談のチカラ

「偶然の出会いを必然に！」



三井不動産（株）菰田会長と街づくりをテーマにした雑談



Y K K（株）小林副社長と商品開発についての雑談

### 未来デザインプラクティス

「自分と未来は変えられる！」

未来をデザインし企画・実践、内容を  
コミュニケーションできる能力の醸成



中央図書館吹き抜け天井の  
北辰について説明する学長

### リスキリングプログラム



「知と人材の集積拠点として、イノベーション人材を育成する」

正課の授業科目によるリスキリング教育プログラム  
総合大学の強みを生かした11の教育分野 ※ R5 募集開始



### - Hot Topics! -

R5.11 経団連役員に本学の取組紹介



講演する学長

# 医療・研究・地域・環境が一体となった新たなまちづくりに向けて 宝町・鶴間新キャンパス（仮称）の整備を進めています

## ●コンセプト ～心と身体と環境の健康を実現するウェルビーイングキャンパス～

### ●基本計画の策定方針（要約）

- ① 地域と世界に開かれた研究拠点となり、グローバル人材の育成の場となること
- ② デジタル技術と医療・健康研究などの異分野融合による社会実装の場となること
- ③ 地球環境へ配慮し、地域活性化、安全で快適な居住空間の実現を目指すこと
- ④ 持続的な利用と運営を実現するキャンパス計画であること

### ●キャンパス整備の基本方針

「宝町・鶴間新キャンパス（仮称）  
から地域と世界へ」

を目指した世界的研究拠点となるキャンパスの構築

#### 宝町・鶴間新キャンパス（仮称）

- ・金沢美術工芸大学跡地
- ・附属病院
- ・宝町地区  
（医学類）  
（薬学類）  
（研究所等）
- ・鶴間地区  
（保健学類）

学生の実習教育  
医療従事者の研修

遠隔医療等の実証研究

キャンパス利用者

（居住者、地域住民含む）

キャンパスの機能・施設を  
通じた様々な健康支援

実証研究の場

#### 角間キャンパス（モビリティで接続）

「オール金沢大学」で総合知を生かした融合研究にも展開

・融合研究域、人間社会研究域、理工研究域、医薬保健研究域（薬学類）、研究所等

産学官金連携による共同研究

民間企業・金融機関

- ・新たな産業の創出
- ・地域経済の発展

地域課題の共有

自治体（石川県・金沢市等）

- ・地域の健康医療の充実
- ・地域の賑わいの創出

多面的な相互連携・支援

地域住民

- ・交流の活性化
- ・生活の質（QOL）の向上

（注）本計画は、令和6年8月時点の基本計画であり、今後変更となる可能性がある

## 未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取り組み

---

- ① 令和6年能登半島地震の状況と本学の対応
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

・ 歴史的・学術的に価値の高い建築物等の保存に取り組んでいます

・ 文化を大切にした持続可能な社会の実現に貢献しています

R6.3 有形文化財に5件登録



医学類旧書庫（北側）  
（旧制金沢医科大学附属図書館書庫）



医学類解剖標本庫（西側）  
（旧制金沢医科大学解剖学標本庫）



医学類西面南旧正門及び煉瓦塀  
（旧制金沢医学専門学校）



医学類病理標本庫  
（旧制金沢医科大学病理学標本庫）



医学類西面北煉瓦塀  
（旧制金沢医学専門学校）

R5.1 ユネスコチェア採択

- ・ 複数のユネスコ認定地域（例：白山）によるフィールド
- ・ 社会・経済・環境面で若者と年配者の世代間学習の促進
- ・ 相互に有益な価値観の創造



R5.11 ユネスコ/日本ESD賞を受賞



受賞した  
Mammadova Aida准教授

日本の機関・団体が  
受賞するのは7年ぶり  
2回目の快挙！

- ・ [白山ユネスコエコパーク](#)
  - ・ [白山手取川ジオパーク](#)
- の登録地域の活用

「日本のユネスコ生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）およびジオパーク内の沿革地域活性化を目的とした世代間学習」事業

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

効果的、効率的な広報を実行し、本学の存在意義・価値・魅力をストックホルダーに届け、金沢大学ブランドの向上を目指します

英国科学誌「Nature」  
14 March 2024号 Health sciences特集



「Newsweek」  
OCTOBER 11, 2024号  
The WORLD FOLIO 掲載



Leading the Way Through  
"Future-oriented Intelligence"

A global, socially-conscious institution, Kanazawa University helps humankind to meet its challenges. By Chao Dai

When Kanazawa University was established over 160 years ago, initially as a mission-oriented center, it set itself on fundamental

This focus on both local and global solutions reflects the inclusive, international outlook of Kanazawa University, whose "Waga" (志) of being in Shikoku. The president, Mr. Wada, explains, offers "traditional Japanese culture in a modern application environment."

Kanazawa (Distribution) Japanese university written by President Wada

Newsweek



「TIME」 Asia Edition,  
December 26/2022 & January 9/2023号,  
Online版12月26日掲載

STEAMing into the future with global learning  
Kanazawa University is working to attract more international students by offering top class research, liberal arts, and science subjects as part of a plan to produce leaders of the future.



Takashi Wada,  
President, Kanazawa University

A forward-thinking university is planning to revolutionize education for the next generation by bringing the world to Japan. The ground-breaking faculty of Kanazawa University is working to improve not just the life and performance of its students, but of the

wider society and economy.

The institution not only works to attract international learners but has developed a specially designed social system to support their local integration and well-being. New Kanazawa University President, Takashi Wada said they need to work harder to open to the wider world while strengthening ties with local society. "Being an island country is part of what makes Japan's culture so special and inviting more international students enhances that culture, nationally and at Kanazawa University in terms of research, the educational atmosphere, and the local community," he said. Attracting and getting the best out of the next generation of students requires a multifaceted approach combining welfare, academics, and creative thinking.

As well as its strong commitment to life sciences research, and ICT systems that support remote learning and the web-enabled smart society of the future, the Kanazawa faculty have been enthusiasts for STEAM

studies, the modern idea of integrating arts teaching alongside technical subjects. "The newer generation requires a higher level of resourcefulness, with a wide skill set gained from a variety of areas," Wada said. "We ensure liberal arts are taught across a wide range of degree disciplines." With 160 years of history, the university is proud to look back while planning forward. "The vision for the future involves ideas of what we should be. Our first and most important mission is to foster the next generation of leaders and thinkers," Wada said.



KANAZAWA UNIVERSITY



(株)ジャパントイムズ  
December 16, 2023  
ASEAN-Japan 50th  
anniversary special号



nature ・英国科学誌「Nature」9 March 2023号の  
特集「Nature Index Japan」

紹介大学：本学を含む9大学（東京大学、東北大学、早稲田大学等）  
国内大学として総合13位にランクイン。  
分野別では、**Health Sciences 8位**、  
**Earth and Environment Sciences 10位**



日本経済新聞 日経HR  
「人事が見る大学イメージランキング」  
全国総合ランキング 12位(R5.6)→17位(R6.6)

日経BPコンサルティング CCL Corporate Communication Lab.  
R5.12  
学長インタビュー、大学紹介の掲載

Y・SAPIX JOURNAL vol.66  
R5.9「大学歴訪録」#17  
学長インタビュー、大学紹介の掲載

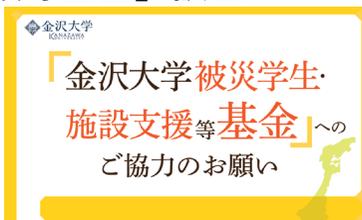
IKUEI NEWS vol.107  
R6.7「大学を訪ねて」第64回  
学長インタビュー、大学紹介の掲載

## 金沢大学基金を活用し、学生と社会の未来へ貢献する活動を行っています



## ○R6.1 「金沢大学被災学生・施設支援等基金」設立

- ・被災した学生の支援
- ・被害を受けた本学の施設の復旧復興
- ・被災地の復興支援



## ○「金沢大学 未来“響創”基金」募集（予定）

目的：新しい価値を生み出す“真の国際人”の育成

- ・日本人学生への奨学金、海外渡航支援
- ・外国人留学生への奨学金、環境整備事業
- ・小中高校生の段階から優れた国際人材を育成する事業

## ○R6.10 「Giving Campaign 2024」参加

- ・公認課外活動団体への支援
- ・実施日程：10月11日～10月20日



11,782名の方から応援いただき、国公立大学100大学中  
応援数は、全国第4位となりました！  
寄附額は、全国第3位となりました！  
ありがとうございました！

## ○R6.6 「iDonate」導入

- ・研究者個人を指定した寄附システム
- ・QRコードを読み取るだけの簡便なシステム



本基金は大学の経営基盤を支える大きな柱となっています

## 基本理念 「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」



角間キャンパス



宝町・鶴間キャンパス

「未来知による社会貢献の実現」に向けて  
「オール金沢大学」で取り組んでいきます

# 人が輝く金沢大学